

次号課題 「温良」

今月の課題は論語の学而編の「夫子 温良恭儉讓 以得之也」から転借した「温良」とする。

訓読は「夫子は温・良・恭・儉・讓・以つて之を得たり」で、意味は「孔子先生は温和・素直さ・恭しき・儉約・謙遜の五つの徳をそなえている」というような意味か。

これは孔子の弟子の子禽が孔子の高弟の子貢に「孔子先生はどこの国へ行つても、国政について相談を受けられるが、その理由はなんでしょうか」と質問した時の答えである。



参考作品

優秀作品

 北嶺 中島 金文の洒脱さをうまく配置している。	 秋風 藤田 端正な線が余白を引き締めている。
 翠 金子 仮名用の自用印、今後の作品に活かしてほしい。	 山湖 荒井 甲骨文字の古雅を小粋に仕上げています。

- 出品資格特に制限なし。
- 印（印影）の大きさは3センチ以内（形は自由。楕円・長方形等も可）。
- 印影を白の半紙1/4に押し、右側に条幅出品券を貼付。
- 課題文字以外の随意作品も出品可。消しゴム印も可。

硬筆研究

次号課題

うづまついたち
 卯月朔日、御山に詣拝す。往昔、此
 御山を「三荒山」と書しを、空海大
 師開基の時、「日光」と改給ふ。千歳
 未来をさとり給ふ。

松尾芭蕉「奥の細道」

優秀作品

空港には特別な雰囲気がある。日常を離れ旅が始まる高揚感や飛行機の離発着を眺めるのも楽しい。多様な人々の姿に融れ異文化への興味が広がる。

松井 潮 光

空港には特別な雰囲気がある。日常を離れ旅が始まる高揚感や飛行機の離発着を眺めるのも楽しい。多様な人々の姿に融れ異文化への興味が広がる。

古川 玉 璋

空港には特別な雰囲気がある。日常を離れ旅が始まる高揚感や飛行機の離発着を眺めるのも楽しい。多様な人々の姿に融れ異文化への興味が広がる。

澤田 桃 翠

空港には特別な雰囲気がある。日常を離れ旅が始まる高揚感や飛行機の離発着を眺めるのも楽しい。多様な人々の姿に融れ異文化への興味が広がる。

松本 栖 麗

空港には特別な雰囲気がある。日常を離れ旅が始まる高揚感や飛行機の離発着を眺めるのも楽しい。多様な人々の姿に融れ異文化への興味が広がる。

松崎 洸 翠

空港には特別な雰囲気がある。日常を離れ旅が始まる高揚感や飛行機の離発着を眺めるのも楽しい。多様な人々の姿に融れ異文化への興味が広がる。

中塚 啓 子

空港には特別な雰囲気がある。日常を離れ旅が始まる高揚感や飛行機の離発着を眺めるのも楽しい。多様な人々の姿に融れ異文化への興味が広がる。

細谷 紀 子

- 出品資格：一般10級～師範。
- B5の用紙に縦書で四行に書くこと。（文字送りは自由）（行書、草書がまじってもよい。ただし漢字、ひらかなの変換は不可）
- 作品右下に条幅作品出品券を貼付。

※予告（五月号）は44ページに掲載

※用紙は検定試験の（口）の使用も可。

